

《はじめに》

1. エッ！ 信徒奉仕職？

大阪教区は、今「新生計画」をもとに新しい教会づくりを努めています。この計画は、現代の中でキリストの生き方を伝えていくためにはどうすればいいのだろう、ということとつながりました。

「新しいどう酒には新しい皮袋」(マルコ2:22)が必要のように、新しい時代に生きる人びとのために働くには、教会も新しくなることが求められています。「新生計画」では、これからの教会の姿として「共同責任を担い合い、協働する教会」「司祭 修道者との協力を重視しながら、信徒の役割と責任(使命)を前面に出す教会」が示されています。そこで信徒が担う働き、とりわけ「信徒奉仕職」がとても大切になってきています。「びど」の労働者」(マタイ20章)のように、今、信徒の働きが必要とされているのです。

◇分かち合いのフォーラム◇

* あなたの身の回り(家庭・地域・職場・学校など)の人びとは、日々の生活の中で何を求め、何を大切にしようとしていますか？

* あなたはその人たちをどのように受け止め、どのように関わっていますか？



×E: